



徳

MITSUKUNI

TOKUGAWA  
ART BOOK series

徳川光圀



## Prologue

### みつくに 光圀と西山御殿

Mitsukuni and *Nishiyama-goten* national heritage and scenic beauty

元禄3年(1690)、水戸徳川家2代光圀は、世子・綱條に家督を譲ると、常陸国久慈郡の西山に御殿の建設を命じました。光圀はかねてから江戸を離れて隠棲したいと考えていたので、その願いを遂げようとしたのです。元禄4年(1691)、西山御殿は完成しました。

光圀がこの地を好んだのは、水戸徳川家墓所である瑞龍山や光圀の母・久の菩提をとむらう久昌寺に近く、また光圀が尊敬していた古代中国の賢人・伯夷と叔斉が隠棲した首陽山の別名が西山だったからと言われています。

西山御殿で光圀は、後に『大日本史』と命名された歴史書の編纂に取り組みました。

光圀が没すると御殿は一部が取り壊され、文化14年(1817)には火災で焼けた。文政2年(1819)から翌年にかけて、8代斉脩の命で光圀の居住部分が復元され、天保13年(1842)には「西山旧蹟」として整備が行われた。現在に至るまで、西山御殿は光圀の人柄と功績をしのぶ国の史跡・名勝として大切に受け継がれている。

*Nishiyama-goten* national heritage and scenic beauty is the place where Tokugawa Mitsukuni, Tokugawa Ieyasu's grandson, spent his life after retirement.

He was revered by the people as “one of the treasures of the world.”

### 熊野杉 *Kumano cedar*

樹齢300年を超える杉の巨木は、紀伊徳川家から贈られた熊野杉。

This is a *Kumano cedar* with an age of over 300 years.

